

2017年7月28日

岡山初！大紀産業(株)、JICA 普及・実証事業に採択

～ 食品乾燥機の販売ビジネスでアフリカ農家支援へ ～

国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」において大紀産業株式会社（岡山県岡山市、代表取締役社長 安原宗一郎）が提案する「農作物乾燥加工技術導入を通じたタマネギの付加価値創出に向けた普及・実証事業」（スーダン）を採択しました。普及・実証事業では岡山県から初めての採択です。

スーダンはサハラ砂漠の入り口という半乾燥地帯にあり、農業を行うには厳しい自然環境に加え、情勢の不安定さ、インフラ、技術、人材等の不足が重なり、農業開発が停滞した状況にあります。その中で、タマネギは園芸作物で産出額が最も高く、乾燥品はかつてヨーロッパにも輸出されていたほどの主要作物でした。しかし2006年に国営の大規模な乾燥タマネギ工場が停止して以降、タマネギの市場価格は乱高下を繰り返し、農家の収入は不安定な状況に陥りました。

このような状況に対し、大規模な国営工場に代わり、農家組合単位で導入できる食品乾燥機を普及させることを目指し、農家の収入の安定と農村女性の就業機会の創出、企業としてのビジネスの両立に挑むという本事業には現地のスーダン政府からも期待が寄せられています。



乾燥機をカウンターパートと確認



乾燥機で仕上げた乾燥タマネギ

普及・実証事業では処理量1日1トンの乾燥施設をタマネギの最大産地であるリバーナイル州と、先行する案件化調査で検証を行ったカッサラ州の2箇所に設置する予定で、乾燥タマネギの製造・販売を通じて農家ビジネスの事業性を確認し、同時に食品乾燥機の普及に向けたプロモーションを行います。

なお、本事業は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」(※)として、相手国政府機関との合意が結ばれ次第、開始されます。(※) 支援事業は毎年2回募集、2017年度第1回分は今年3月に公示を行い、19件が採択。次回は9月に公示予定です。参考：(プレスリリース) 普及実証事業2017年度第1回公示の採択結果について https://www.jica.go.jp/press/2017/ku57pq000020tusr-att/20170620_01_p_03.pdf

【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 総務課 担当:橘
 TEL:090-3639-8678 FAX:082-222-1525
 E-mail: Tachibana.Maki@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

